

2017年12月21日

各 位

旭化成メディカル株式会社

ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の紡糸工場の新設について

旭化成メディカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：姫野 毅）は、このたびウイルス除去フィルター「プラノバ™」の紡糸工場を新たに建設し、中空糸生産能力を40,000m<sup>2</sup>/年増強することを決定しましたので、お知らせいたします。

## 1. 工場新設の背景

当社では、バイオ医薬品<sup>※1</sup>や血漿分画製剤<sup>※2</sup>といった生物学的製剤の製造工程に使用されている、セルロース製中空糸型ウイルス除去フィルター「プラノバ™」およびより高いタンパク質濃度領域においても高効率なる過性能を持つ親水化ポリフッ化ビニリデン（PVDF）製中空糸型ウイルス除去フィルター「プラノバ™ BioEX」を製造・販売しており、医薬品の安全性に貢献する製品として世界的な信頼を得ております。

近年、世界において生物学的製剤のウイルス安全性に対する要求が高まっていることに加え、モノクローナル抗体<sup>※3</sup>を中心としたバイオ医薬品の開発が盛んになってきたことから年々ウイルス除去フィルターの需要が増加しており、今後もこの動きは世界的に続くことが予想されています。このような背景から、さらなる安定供給を目指すために、新紡糸工場の建設を決定いたしました。

今回の増強により、2016年に竣工いたしました「プラノバ™ BioEX」の紡糸工場と合わせた当社のウイルス除去フィルター向け中空糸生産能力は130,000m<sup>2</sup>/年となります。

当社では、今後も積極的に研究開発、設備投資を行い、高性能・高品質の製品を開発し、世界のニーズに対応した新製品を生み出すと共に、生物学的製剤の安全性の向上に貢献してまいります。

## 2. 工場新設計画の概要

- (1) 立地 : 宮崎県延岡市旭町6丁目 現プラノバ紡糸・組立工場隣接地
- (2) 増設能力 : 40,000m<sup>2</sup>/年
- (3) 工期 : 2018年4月着工、2019年5月竣工予定

## &lt;用語解説&gt;

※1 バイオ医薬品

遺伝子工学、細胞培養などのバイオテクノロジーを利用して生産されるペプチドやタンパク質を有効成分とする医薬品。インターフェロン、成長ホルモン、エリスロポエチン、モノクローナル抗体などがある。

※<sup>2</sup> 血漿分画製剤

血漿から精製して得られる治療に有益なタンパク製剤で、感染症の治療に用いるグロブリン、血友病などの治療に用いる血液凝固第Ⅷ因子などの血液凝固因子製剤などがある。

※<sup>3</sup> モノクローナル抗体

単一の抗体産生細胞から作られる一種類の均一な分子でできた抗体で、医薬品としては通常、遺伝子組替え技術で作られる。近年、リウマチ、癌などに対する抗体医薬の開発が盛んである。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

旭化成株式会社

広報室

TEL 03-3296-3008